



衆議院議員 玉城デニー FAXニュース (6/28号)



◆「沖縄全戦没者追悼式」に参加

23日慰霊の日、今年も去る大戦で犠牲となった御霊への鎮魂の祈りが各地で捧げられました。

玉城デニーは、平和祈念公園で開かれた沖縄全戦没者追悼式に今年も出席し、多くの参加者と共に平和を願う祈りをささげてきました。

米国などの研究調査によると、実際に戦争を体験した方の約4割が深刻な心の傷（トラウマ）を抱え、ずっと後になってからも「心的外傷後ストレス障害（PTSD）」を発症する懸念があると報告されています。戦闘機などの騒音が戦争を思い出させる一因である事を考えると、県民の中には未だ戦争の状態が心の中では続いている方がいることを、決して忘れてはなりません。その重みを噛みしめる日でもあるのです。

安倍政権は「戦争が出来る国」を望むような憲法改正を標榜していますが、二度と惨禍を招かないためにも、沖縄からの平和への思い・願いを絶やしてはなりません。

今年の慰霊祭は安倍総理のほか、防衛大臣や外務大臣も追悼式に参加しましたが、沖縄の戦後は未だ終わっていない現実を直視出来たでしょうか。なぜ県民が基地やオスプレイに反対するのか、その大きな原点を。尊厳と生命を守る政治こそが恒久平和を築く。玉城デニーもしっかり取り組んでまいります。



◆遺棄された米軍のドラム缶状況視察

沖縄市諸見里にある市サッカー場の工事現場の土中から、つぶれたドラム缶十数本が見つかった件で、玉城デニーも参加する

「うりずんの会」国会議員団が、22日午後現場を視察し、関係者から説明を受けました。現場一帯は1987年に返還された米空軍嘉手納基地の一区画で、改修工事の為13日午前、工事関係者が重機で掘削した際、地下1メートル付近からドラム缶がつぶれて重なった状態で発見されたようです。土中から引き上げたドラム缶を実際に確認したところ、内部は空でしたが外側にはベトナム戦の当時の枯れ葉剤を製造していた米国の企業名が記されており、石油のような異臭も残っていました。「うりずんの会」では防衛・外務の両省へ徹底した調査を申し入れることを確認しました。

尚、玉城デニーは前日の21日の外務委員会でも、この件について政府の姿勢を追求しています。



7/9(火) 玉城デニー「国政報告会」開催決定!

より多くの皆様と直接意見を交わし、県民の声を政治に反映させるための一環として「国政報告会」を行います。玉城デニーの「政治を、より身近に分かり易く感じていただく」報告会へ、たくさんの皆様のご来場、ご参加をお待ちしています。 入場無料です。

◆時間:午後 7時から ◆場所:かりゆし園(沖縄市知花 6-36-17 * 中頭病院近く)

◆ゲスト:山岡けんじ氏、糸数けいこ氏(各氏予定)

配信希望・停止、その他ご意見などございましたらご連絡をお願いいたします。

平成 25 年 6 月 28 日発行：玉城デニー事務所

TEL.098-929-2416 FAX.098-929-2005